

豊田小「再発見」



豊田小の空







校庭に出ると



「校長先生、あの人だれ？」

と声をかけてくる子がいます。

その指の先には、

二宮金次郎の石像が

ありました。

「この人は だれなの？」

「何をしているの？」

「いつ だれが置いたの？」

「もしかして、

夜回り(よまわり)をして

豊田小を守っているの?」

実は、
この二宮金次郎の像は、

二宮金次郎の勤勉(きんべん)な姿勢を
見習って欲しいと

戦時中に多くの学校に、

二宮金次郎の像が
置かれていたのです。



豊田小再発見

そのあたりのお話が
「創立80周年記念誌
とよだのあゆみ」の中に

「豊田小学校の思い出」
として、卒業生が書いていました。

「創立80周年記念誌

とよだのあゆみ」

創立80周年記念誌

とよだの
あゆみ

横浜市立豊田小学校



「豊田小学校の思い出」

卒業生の文章にもとづいて

昭和15年、

町の青年団の一人が、

横浜で二宮金次郎の銅像の
売り物(二基)を見つけた。

もう一人に相談し

『これを、
小学校に寄付しようじゃないか。』

いうことになった。

そこで、

当時の校長（13代目校長）に

相談した。

『善(ぜん)は、急げだ。

今から買いに行きましょう。』

と3人で、横浜に行き、

目指す銅像を買い、
車で、持ち帰った。

そして、

豊田小学校後援会が

学校に

寄贈する形にして
設置した。

しかし、
その像は、

銅製であったため、
戦争の軍事物資の不足にともない、

抛出(きょしゅつ)
されてしまった。

そのあとに
石造の二宮金次郎の像が
建てられ、

それが、
今の学校にあるものである。

「創立80周年記念誌」 「豊田小学校の思い出」(卒業生)から

二宮金次郎

ものしりてやくにたむ

子どもの
伝記

18

木暮 正夫 文

ものしり
ガイドつき

二宮金次郎 ●1787~1856 ●日本・相模 (いまの神奈川県小田原市)

「事を先にし、獲るを後にす」

豊田小図書館から

二宮金次郎

探してやくば
子どもの伝記

18

木暮 正夫 文

ものしり
ガイドつき

二宮金次郎

●1787~1856

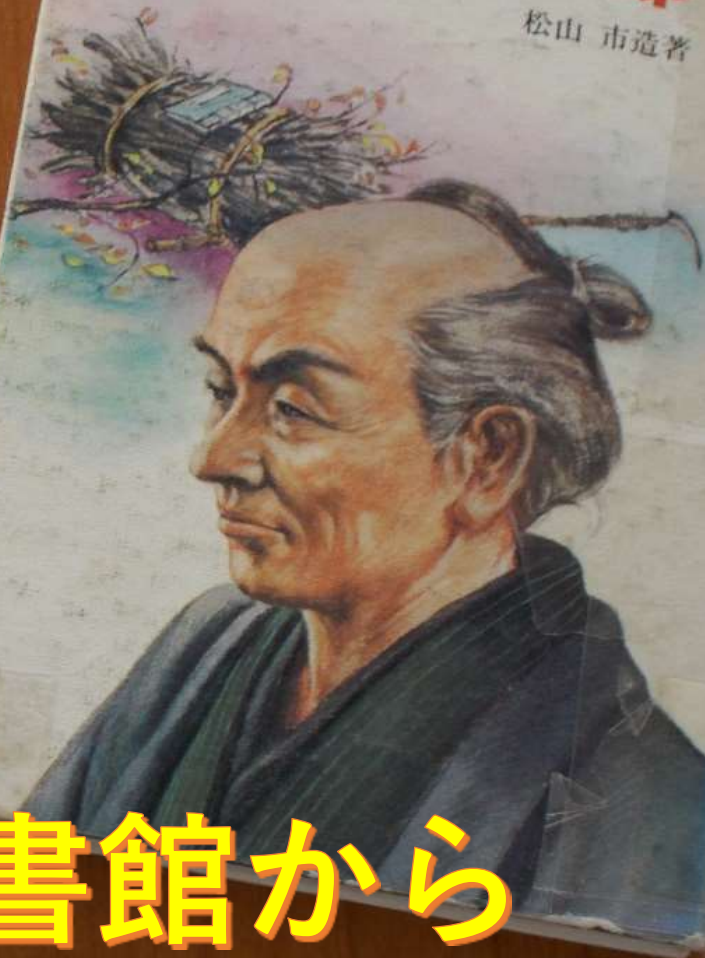
●日本・相模(いまの神奈川県小田原市)

「事を先にし、寝るを後にす」

子どもの伝記全集

二宮金次郎

松山 市造 著



豊田小図書館から

二宮金次郎は、

1787年（天明7年）に

相模の国栢山村（かやまむら）
（現在小田原市栢山）

に生まれました。

毎日の生活に追われながらも、

金次郎は、
りっぱな人間に
なるためには

学問（がくもん）をしなければ
ならないと考えました。

そのころは、

学校はなく、

寺子屋（てらこや）と
いうところへ行って、

勉強（べんきょう）をするのが
普通（ふつう）でした。

しかし、

金次郎のような

びんぼうの家の子は、
そこ（寺子屋）へ
行くこともできません。

でも、
少しばかり、

本を読むと
学問の大切さが

だんだんと
わかるようになってきました。

だから、
金次郎は、

仕事のひまをみては
あるいは、
仕事をしながら、

本を読みはじめました。

金次郎が読んだ本は、

『大学』 や 『論語』 とか
いう

中国で書かれた
漢字ばかりの
むずかしい本でした。

その本に書かれている
「ことば」の意味を

自分の生活や
実際にあてはめてみて、
考えては読み、
読んでは考えることを
繰り返しながら
学んでいったのでした。

その本に書かれている
「ことば」の意味を

自分の生活や
実際にあてはめてみて、
考えては、読み、
読んでは、考えることを
繰り返しながら
学んでいったのでした。

豊田小再発見

そして 世の中へ

グリーン支援隊

「子ども読書の日」

4月23日




校長先生！
二宮金次郎には
不思議なことがあるんだよ




背中に背負っている薪（まき）の数が
左右から数えると違うんだよ



A stone monument with a grid of 17 'maki' (薪) characters. A child in a black shirt is touching one of the characters. A woman in a yellow sweater and a plaid skirt stands to the left. A woman in a white sweater is bent over the monument. The monument is on a paved area with grass and daisies in the foreground.

右から数えると、薪（まき）の数は
17本

A young boy with black hair, wearing a black t-shirt, is leaning over a stone monument. He is pointing with his right index finger at a specific part of the monument. A white, fluffy dog is sitting on the ground next to him. To the left, a person wearing a bright yellow sweater and a plaid skirt is partially visible. The background shows a paved area and some greenery.

左から数えると、薪（まき）の数は
16本なんだ！本当に不思議だな！

「ホントだ！」




豊田小 「再発見の空」



「本の世界」「本の魅力」

努力・努力・努力

横浜市立豊田小学校



希望をともにつくりだす
横浜市立豊田小学校